

# (株)北九州ウォーターサービスの 広域事業

(株)北九州ウォーターサービス  
宗像地区水道管理センター  
広域事業部長 藤村和生

# 内容

1. (株)北九州ウォーターサービスの概要
  - 第三セクター
  - 出資割合
  - 特徴
2. 宗像地区事務組合業務の包括委託
  - 経緯
  - 委託スキーム
3. 宗像地区水道管理センターの取り組み
  - 立上げ
  - 日々の業務内容
  - 初年度総括
  - 今後の計画

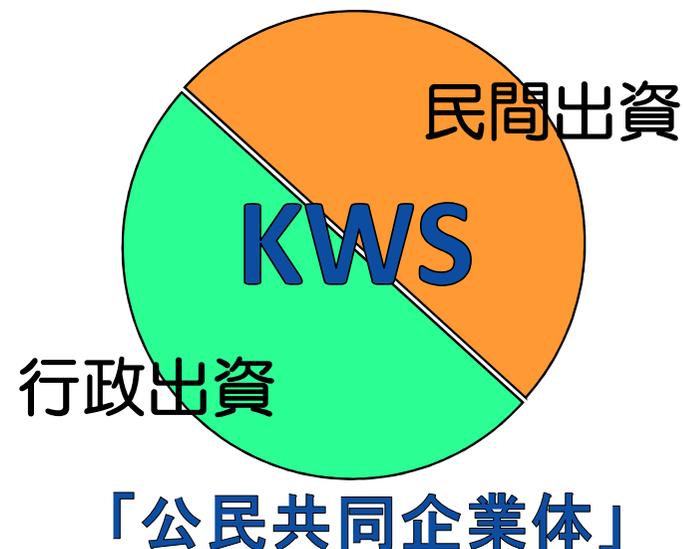
# (株)北九州ウォーターサービス(KWS)の概要

株式会社北九州ウォーターサービス(KWS)は、  
50年の歴史を誇る(一財)北九州上下水道協会を母体として、  
北九州市及び民間企業6社の共同出資により設立された**公民共同企業体**です。

(前身)

一般社団法人  
北九州市上下水道協会

- ・50年以上の歴史
- ・北九州市内での実績と信頼



<b>資本金</b>	1億円	<b>主要事業</b>
<b>出資比率</b>		1. 市内事業(北九州市内)
北九州市	54%	2. 広域事業
(株)安川電機	19%	3. 海外水ビジネス事業
メタウォーター(株)	19%	<b>組織</b>
銀行4行	各2%	5部制(総務、水道、下水道、広域事業、海外事業)

# (株)北九州ウォーターサービス(KWS)の概要

## (一財)北九州上下水道協会を母体として、 第三セクター(三セク)を設立した理由

### 北九州市

広域事業や海外事業を展開するパートナーが必要



### (一財)北九州上下水道協会

民間企業との競争環境に不安



### 中小規模水道事業体

業務を外部に委託するニーズ



---

## 北九州市が、54%出資した理由

北九州市のガバナンスが働く組織(安心感)



民間企業のノウハウを活用



## (株)北九州ウォーターサービス(KWS)の強み



### 行政出資の強み

1. 上下水道協会時代の  
実績と半世紀の信頼
2. 市の高度な上下水道技術  
ノウハウの確実な伝承
3. 民間企業に委託しにくい  
準コア業務を実施できる

### 民間出資の強み

1. 企画力・営業力の活用
2. 継続的な人材確保
3. 北九州市内に限定されない  
事業展開
4. ICT等先進技術の活用

## KWSの経営ビジョン

KWSは、北九州市と国内外の上下水道事業体の発展と豊かな水環境の創造を支援する「**新しい担い手**」となることを目指します。

## KWSのポジション

KWSは、上下水道事業体単独では蓄積が困難になりつつある技術力を継続的に蓄積し、関係者間で共有・発展させる「**技術継承基盤**」となることを目指します。

## 宗像地区事務組合について

### 主な沿革

- 平成19年4月 4つ一部事務組合を統合し、宗像地区事務組合が設立
- 平成22年4月 宗像市、福津市の水道事業と組合の水道用水供給事業を統合  
**(水平、垂直統合)**



### 運営方針

1. **プロパー職員は採用せず**、両市の派遣職員で運営
2. **業務の外部委託を推進**

### 課題

1. **技術の継承**や**給水の安定**に課題がある。

# 宗像地区事務組合業務の包括委託



## 水道事業の概要 (宗像地区事務組合)

項目			宗像地区事務組合 (宗像市・福津市)	北九州市 (芦屋・水巻含む)
計画	計画給水人口	人	147,920	1,106,100
	計画1日最大給水量	m3/日	51,100	537,000
平成 25 年度	給水人口	人	132,310	1,001,497
	有収率	%	91.1	89.2
	1日最大給水量	m3/日	40,013	357,810
	1日平均給水量	m3/日	34,273	318,564
	給水原価	円	208.11	156.08
水道料金 (φ13mm、20m2/月)		円/月	3,900	2,100

# 宗像地区事務組合業務の包括委託

## 北部福岡緊急連絡管と宗像地区事務組合



平成23年4月 宗像市域へ1日最大10,000m<sup>3</sup>/日の水道用水を供給  
平成28年4月 福津市域へ1日最大3,000m<sup>3</sup>/日の水道用水を供給

# 宗像地区事務組合業務の包括委託

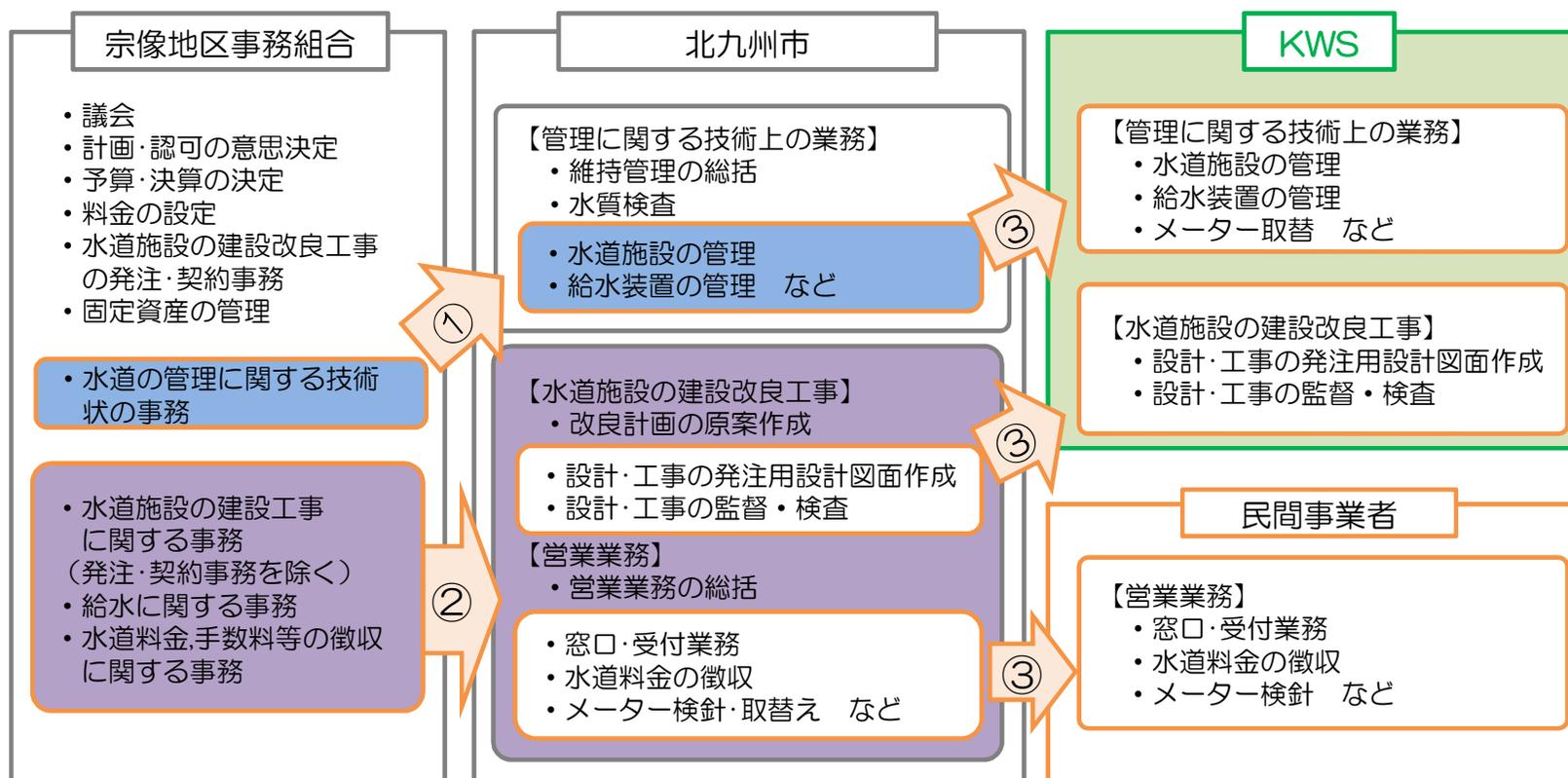
## 宗像地区事務組合が北九州市に包括委託した経緯

H23.4	北九州市水道用水供給事業による宗像地区への供給を開始
H23.10	北九州市と技術協力に関する協定を締結
H26.2	北九州市に包括業務の受託について検討依頼
H26.11	包括業務委託に関する基本協定の締結
H27.10	事務の代替執行に関する規約を制定
H28.2	第三者委託の契約を締結
H28.4	包括業務の委託開始

技術の継承が困難

# 宗像地区事務組合業務の包括委託

## 包括受託の事業スキーム



- ① 第三者委託(水道法第24条の3)
- ② 事務の代替執行(地方自治法252条の16の2)
- ③ 私法上の委託

# 宗像地区事務組合業務の包括委託

## 受託方法の比較

	水道法 第三者委託	地方自治法 事務の代替執行	地方自治法 事務の委託	私法上の委託
概要	水道の管理に関する技術上の業務を水道事業者及び需要者以外の第三者に委託	普通地方公共団体の事務の一部の管理執行を当該普通地方公共団体の名において他の普通地方公共団体に行わせる	普通地方公共団体の事務の一部の管理執行を他の地方公共団体にゆだねる制度	水道事業者の管理下で契約に基づいて業務の一部を委託するもの
権限	受託者に移る	発注者に残る	受託者に移る	発注者に残る
技術管理者	受託者	発注者	受託者	発注者
外部委託	可	可	可	不可
仕入れ控除	可	可	不可	可
4条の繰越	不可	可	不可	可

## 宗像地区水道管理センターの立ち上げの背景

### 北九州市

行財政改革を進めており、宗像の業務を受託し収入が増えても、**人員増**が困難であった。また、**職員の遠距離通勤**も困難であった。

### (一財)北九州上下水道協会

移行準備のための調査業務を受託し、業務分析を行い手順書・マニュアル・業務フロー等を作成するなど包括受託業務に関与した。協会はH27年10月から宗像地区事務組合に、人員配置を行い、移行準備作業を開始した

## リクルート

### 上下水道協会の人材

- ・設備系業務が中心、土木系は給水装置のみ
- ・4条工事は経験していない(設計積算、施工管理、検査)
- ・漏水事故対応、土木施設の修繕も経験していない

### 求められる人材

(宗像地区事務組合の業務をこなすには)

- ・中堅若手社員  
→ 出資企業からの社員派遣
- ・水道経験のある上下水道局OBを確保する必要がある  
(課題)給与・通勤の問題 → 主査職の新設
- ・現場の事情に精通する社員が必要  
→ 宗像地区事務組合職員の雇用

## 効率化

北九州市の業務手法を採用

支給材料制度

セット単価での修繕工事の精算

北九州市と同様の設計積算システム

## 地元業者の不安

- ・北九州の業者が入ってきて仕事が減る
- ・維持管理単価が切り下げられる
- ・支給材料制の導入により材料からの利益がなくなる
- ・簡易工事が見積もりから積上げ積算になり利益が減る
- ・本工事に起因した付帯工事の特命がなくなる

## 地元業者との共存共栄

- 急激な変化を避けるため、**従来からの取引業者に発注した**
- 北九州市と合同で**説明会を開催した**

# 宗像地区水道管理センターの立ち上げ

## 3者それぞれの思い

### 委託料

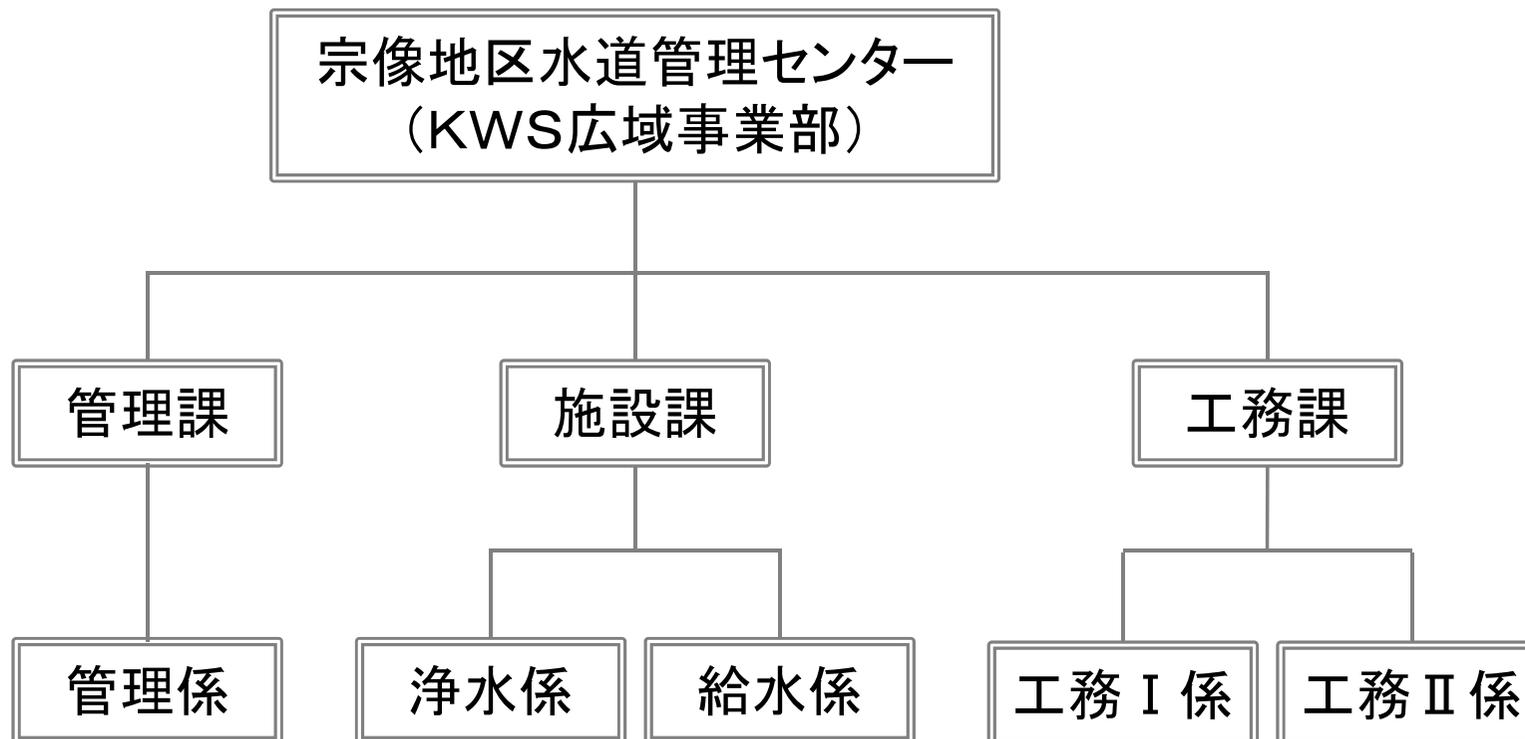
組合	現行よりも安上がりに
局	収益の確保、人を出す余裕はない、外注が基本
KWS	必要人員を積上げ、利益上乘せ。

### 各者のメリット

組合	<b>水道事業の継続、職員の削減</b>
局	地域貢献(技術ノウハウの地域伝承)、技術の継承
KWS	事業拡大による収益の確保、 <b>経験を積み実績を作る</b>

# 宗像地区水道管理センターの取り組み

## 組織



# 宗像地区水道管理センターの取り組み

## KWS事務所 (宗像地区水道管理センター)



### 浄水場中央管理室ミーティング



### 組合・北九州市・KWS 3者協議



# 宗像地区水道管理センターの取り組み

## 布設替工事の検査 (KWS)



バルブ操作



給水装置工事申込受付事務

## 1年目の総括

- 1年目の業務は無事完了し、黒字決算となった。
- 事務組合や北九州市OB、出資企業からの派遣社員らが一体となり結果を出すことができた。
- 4条工事の設計積算や施工管理など初めての業務をやりあげて自信となった。

## 課題

### 1. 業務の効率化

- ・思ったほど利益が上がらない
- ・これまでの経緯を尊重してきたが、関係者の反発を招かぬよう  
少しずつ業務を変更していく必要がある

### 2. 社員の技量向上

- ・計画業務をしてもらいたいという要望
- ・社員全体のレベルアップを図る必要がある  
(プロパー社員の採用・育成)

## 課題

### 3. 業務範囲の明確化

- ・仕様が曖昧であるため**甲乙協議して確認する必要がある**
- ・提出資料がだんだん**増える傾向**にある

### 4. 単年度契約

- ・中長期の事業計画が不明なため、**単年度契約であり安心して業務を進めにくい**

### 将来計画

1. 更なる広域事業推進のため経営企画課を設置した。  
(H29年度から)
2. 中小規模水道事業者からの直接受託を目指す。  
(官の業務を担いたい)
3. 民間企業と連携し人材の派遣を求めたい。



豊かな水環境の創造と発展を、  
北九州から国内、そして世界へ。

【お問い合わせ先】

株式会社北九州ウォーターサービス 広域事業部

〒811-3507 福岡県宗像市多禮298番地 宗像地区水道管理センター

TEL 093-62-0975 <http://www.kitakyuws.co.jp/>

ご静聴ありがとうございました。